

## 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
(お問い合わせ先)	電話(通話料無料)0120-094-777

公告方法 日本経済新聞に掲載する方法により行う

(ご注意)

- 1.株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9869

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ  
「e-株主リサーチ事務局」  
TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
MAIL:info@e-kabunushi.com

## 株主優待

9月末日(決算期末)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有される株主さま1名につき、当社オリジナル製品「GREEN WOOD 手造りジャム」1セットを贈呈いたします(12月初旬発送予定)。家庭でつくるように、砂糖とレモン果汁だけで煮詰めました。果肉たっぷり、当社が自信をもってお勧めする製品です。

### ■所有株式数100株以上

詰め合わせ例

- いちごジャム
- ブルーベリージャム
- オレンジマーマレード

(各330g)

※2,100円相当

※詰め合わせの内容は変更させていただきます場合があります。



### ■所有株式数1,000株以上

- いちごジャム
- ブルーベリージャム

(各530g)

※3,080円相当



**KATO**

流通を最適ソリューション

加藤産業株式会社

証券コード：9869

<http://www.katosangyo.co.jp/>

**KATO**

## 第65期 報告書

平成22年10月1日から  
平成23年9月30日まで

加藤産業株式会社

証券コード：9869



ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。また、東日本大震災に被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

さて、第65期における食品流通業界は、震災の影響を受け、安全・安心への更なる要請や、先行き不透明感からの生活防衛意識の高まりにより節約志向が一層定着するとともに、社会的つながりへの関心が高まるなど、消費環境、消費者意識が大きく変化しました。

また、商品カテゴリーを横断した経営統合を中心に再編が進み、グループ間競争はますます激しくなっています。

こうした中において加藤産業グループは、多くのお取引先さまの発展に向けて、一層お役に立てる徹底した「つながり」の行動を推進するとともに、皆さまの食生活の向上を通じて、企業としての社会的責任を果たしてまいりたい所存であります。

そして、より存在価値の高い企業を目指し、一步一步進化を続けたいと思っております。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



代表取締役社長 加藤 和弥

社 是

能力を啓発し機能を充実し  
生販両層にとって最も価値  
ある存在として周囲の人々の  
生活を豊かに実らせ 其處に  
社会性を有する企業として  
永遠の発展を礎きあげる。

連結売上高 7,024億11百万円

第65期の加藤産業グループは、消費者ニーズに対応した商品の開発・品揃え提案等を推進することで売上拡大を図りました。一方、利益管理の徹底及び物流コストをはじめ諸経費の抑制、業務全般の生産性向上等による経営の効率化に取り組むことで利益の確保に努めてまいりました。

売上高	7,024億11百万円	(前期比: 5.5%増加)
営業利益	106億64百万円	(前期比: 14.5%増加)
経常利益	115億55百万円	(前期比: 15.7%増加)
当期純利益	63億1百万円	(前期比: 25.1%増加)

長期ビジョンとその達成のために

私たち加藤産業グループでは、いまの時代に最も求められる企業像「強くて優しい会社」の実現を目指し、具体的な施策を盛り込んだ中長期的な戦略を進めています。本計画一つひとつを確実に遂行することによって、さらに成長し続けます。

売上高1兆円

経常利益130億円

グループ目標

長期ビジョン  
1兆円  
グループへ

2017年(創立70周年)までの早い時期に、独立した全国卸売業としての存在感を維持、アピールするための企業規模と収益を確立します。また、次代の成長を見据え、一層の機能強化を図る投資を継続する原資確保のため、経常利益130億円の達成を目指します。



## 常温流通事業 (常温ドライ、家庭用食品)

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、東日本大震災の影響で、飲料、インスタント食品、缶詰類を中心に一時的な需要の増大もありましたが、全体として商品の低価格化は引き続き進行しており、消費者の生活防衛行動に対応すべく、仕入先とも連携して主要得意先との取り組みを強化し、また自社PB商品の拡売を図りました。

その結果、大手量販店、食品スーパー並びに出店拡大が顕著なドラッグストア、ディスカウントストア等への販売が堅調に推移したことにより、売上高は5,679億64百万円、営業利益は93億86百万円となりました。

## 低温流通事業 (チルド、冷凍、外食用食品)

低温流通事業につきましては、外食需要の低迷により、飲食店等への販売は厳しい状況で推移しましたが、内食需要に対応した家庭用冷凍食品、惣菜等を大手食品スーパーを中心に拡売することができました。

その結果、売上高は806億26百万円、利益管理の徹底及び物流費の抑制等により、営業利益は3億13百万円となりました。

## 酒類流通事業

酒類流通事業につきましては、外食需要の低減、消費者の低価格志向並びに若年層のアルコール離れ等により、酒類消費市場の縮小傾向はますます顕著になっており、特に一般酒販店・業務用酒販店の凋落傾向は続き売上の確保が厳しい状況で推移しましたが、主要得意先との取り組み強化を図り、売上高は593億90百万円、営業利益は4億94百万円となりました。





## 東日本大震災 復興に向けての支援

### 復興支援商品の発売

この度の東日本大震災に際しましては、被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

当社は、東日本大震災で被災された方々を支援するための義援金が商品価格に含まれた「カンピーファミリーサイズジャム(シリーズ全5品)」、「ミスターポテト マンチェスター・ユナイテッド ポテトチップス(シリーズ全6品)」を全

国にて発売しています。

被災地の復興を願い、当商品をご購入いただいたお客さまの気持ちと義援金をお預かりし、被災地の義援金窓口を通じて寄付させていただきます。

これからも、被災地の皆さまの支援に全力で取り組んでまいります。



カンピーファミリーサイズジャム  
(1商品あたり、3円の義援金)  
平成24年3月31日製造分まで



ミスターポテト  
マンチェスター・ユナイテッド  
ポテトチップス75g  
(1商品あたり、1円の義援金)  
平成24年3月20日出荷分まで



ミスターポテト  
マンチェスター・ユナイテッド  
ポテトチップス130g  
(1商品あたり、2円の義援金)  
平成24年3月20日出荷分まで

### 被災者・被災地への義援金

当社は、被災地の皆さまの救援や被災地の復興に少しでもお役立ていただくため、地域社会の一員として、また、食品卸売業界の一員として被災地に対する義援金を右記の通り寄付いたしました。

寄付先(経由) 財団法人 神戸新聞厚生事業団  
4,000万円  
社団法人 日本加工食品卸協会  
1,000万円

## オリジナル商品のご紹介



kanpy

毎日の暮らしを、  
より豊かに



GREEN WOOD

生まれは自然(ナチュラル)、  
育ちは都会(アーバン)



理人

料理の専門家が、  
味と素材にこだわりました



生活派

暮らし上手な方々の  
多彩なニーズにお応えします



Pezullo

南イタリアの太陽と水に  
恵まれた本場のパスタ



PROSSIMO

世界の食を  
日本のご家庭へ

## 海外事業の展開

### 海外事業推進部の設置

2011年4月1日付で新たに海外事業推進部を設置いたしました。当社は、2007年に中国広東省最大の食品卸売業・広州華新(集団)貿易有限公司に資本参加し、2009年には深圳華新創展商貿有限公司(広東省深圳市)に出資して中国流通業界での卸売事業の展開を行っています。今後は中国のみならず他の国も視野に入れながら、今まで培ってきたノウハウを活かして本格的に海外での卸売事業に取り組み、将来の加藤産業グループの大きな柱として、さらなる拡大・成長につなげていきます。



加藤産業グループは、創業以来「強い会社」を目指しています。そして今、「優しい会社」という新たなビジョンを加え、次の成長に向けて着実な一歩を歩んでいます。環境への配慮やISOへの取り組みなども含め、私たちは企業市民として、また食品中間流通業として、CSR(企業の社会的責任)活動の推進に努めます。私たちは、関係する人々(ステークホルダー)にとって「強く優しい会社」でありたいと考えています。

## 環境・社会報告書

毎年1回、環境や社会への取り組みをまとめた「環境・社会報告書」を発行し、情報開示を行っています。

●詳細データ等は、ウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.katosangyo.co.jp/csr/>



## 環境への取り組み

### 地球温暖化防止

当社は、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出削減に向けて、全社で取り組んでいます。

#### ●照明設備の省エネ化

物流センターにてベース照明として使用している水銀灯を“高効率蛍光灯”や“メタルハライドランプ”に変更するとともに、事務所等で使用されているFLRタイプの蛍光灯をHfタイプに変更することで、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組めます。

#### ●車輦台数の削減

物流業務委託先と連携し、車輦回転数の改善や待機時間の削減及び積載量の最適化等を図ることで、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組めます。

### 循環型社会推進

当社では、限りある資源を有効活用するために、Reduce(発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再生利用)の【3R】を推進しています。循環型社会の構築に少しでも貢献できるよう日々努めています。

#### ●詰め替え用商品の開発・製造

「GREEN WOOD手造りジャム(530gシリーズ)」とその詰め替え用は、お客さまの声にお応えして作られた「環境配慮型商品」です。瓶容器は密閉保存瓶で再使用でき、詰め替えパックはごみの減量化を考慮して開発されました。



#### ●PB商品開発に関する廃棄物の削減

当社オリジナルブランドの商品開発においては、環境に配慮し容器の軽量化、消費者のご家庭で排出される廃棄物の削減を推進しています。

#### <容器軽量化の一例>

ゆであずき 甘さひかえめ

従来品



スチール缶(50g)

新商品



プラスチック製容器(5g)

## 社会への取り組み

### ●グリーンウッド基金

加藤産業グループで実施しているクリーン活動(周辺地域のボランティア清掃)を、会社が評価する仕組みで賛助金を拠出し、積み立てる「KATO グリーンウッド基金」を設立し、幅広く社会貢献に役立てています。



<平成23年度>基金が支援した協会・団体

- 国連WFP協会
- 国際協力NGOセンター
- あしなが育英会
- フードバンク関西
- 特定非営利活動法人ACE
- 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- その他、当社の拠点付近の社会福祉法人

### ●電気使用量の削減

当社では、東日本大震災の影響による電気使用抑制に対応するため、「照明」「空調」「自動販売機」「家電製品」等の設備ごとに、省エネルギーに関する運用基準を再度明確にするとともに、従業員へ周知徹底を図り、電気使用量の削減に取り組んでいます。

### ●フードバンクとの取り組み

2008年から自社ブランド商品に限定し、賞味期限を1ヶ月以上有する返品商品や倉庫で容器等が破損した商品の中で、品質に異常がないにもかかわらず廃棄処分をしていた商品を、特定非営利活動法人フードバンク関西を通じて非営利福祉団体や社会福祉施設に無償提供しています。



### ●工場見学

当社の生産部門である「乾物部」「上郡工場」では、地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、近隣の小学生の工場見学を受け入れています。さら



に、「乾物部」では工場見学の一環として、「ごみの分別」や「リサイクル」などに関する環境学習も併せて実施しています。工場見学、環境学習を受けられた皆さまには、社会学習をされたことを示す「証明書」を発行し、お渡ししています。

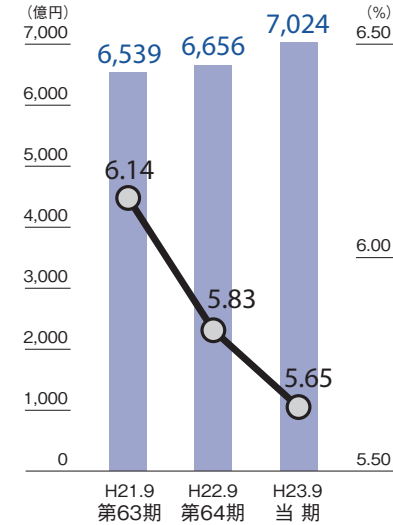
## 業績の推移

(単位:百万円)

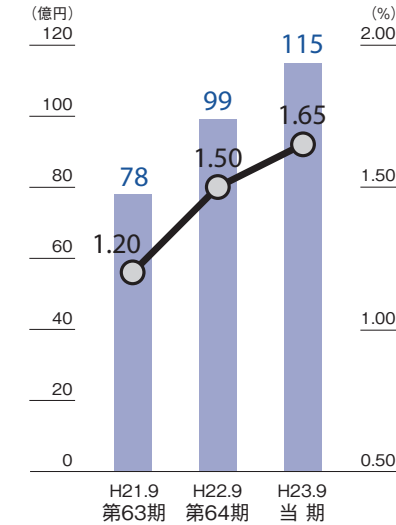
	63期 平成21年9月期	64期 平成22年9月期	当期 平成23年9月期
売上高	653,924	665,640	702,411
営業利益	7,039	9,316	10,664
経常利益	7,878	9,983	11,555
当期純利益	4,207	5,035	6,301
総資産	196,833	205,988	218,620
純資産	64,012	68,116	74,437
自己資本比率(%)	32.32	32.87	33.65
1株当たり当期純利益(円)	112.15	134.44	168.23
1株当たり純資産(円)	1,698.51	1,807.55	1,964.02
ROA(%)※1	4.02	4.96	5.44
ROE(%)※2	6.70	7.67	8.92

※1 ROA(総資産経常利益率) ※2 ROE(自己資本純利益率)

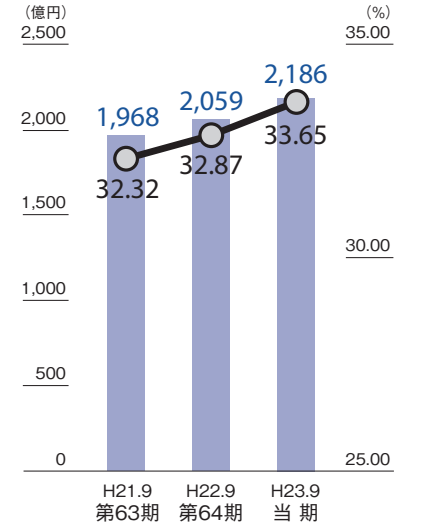
## 売上高 & 販売管理費率



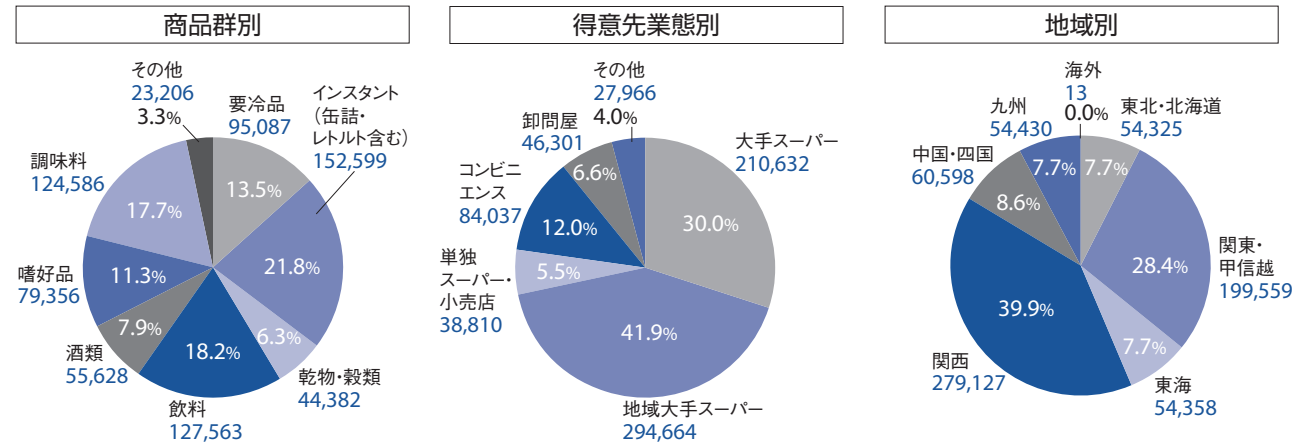
## 経常利益 & 経常利益率



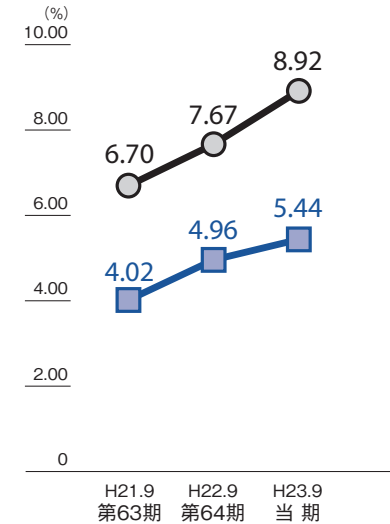
## 総資産 & 自己資本比率



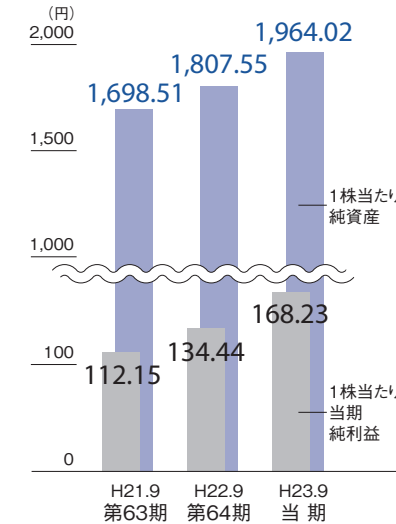
## 売上高構成 当期売上高 702,411 (単位:百万円)



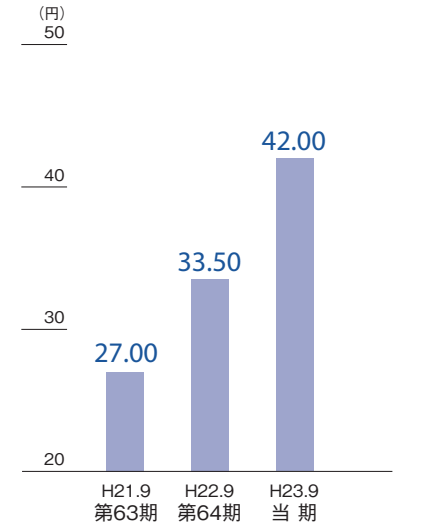
## ROA & ROE



## 1株当たり当期純利益 & 1株当たり純資産



## 1株当たり配当金





## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 平成23年9月30日現在	前連結会計年度 平成22年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	142,129	131,415
固定資産	76,491	74,573
有形固定資産	43,183	42,727
無形固定資産	3,726	3,619
投資その他の資産	29,582	28,226
資産合計	218,620	205,988
<b>負債の部</b>		
流動負債	135,656	130,350
固定負債	8,526	7,520
負債合計	144,183	137,871
<b>純資産の部</b>		
株主資本	71,276	66,362
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,806	8,806
利益剰余金	57,397	52,482
自己株式	△ 860	△ 860
その他の包括利益累計額	2,283	1,338
その他有価証券評価差額金	2,283	1,341
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 2
少数株主持分	877	416
純資産合計	74,437	68,116
負債純資産合計	218,620	205,988

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

### POINT 1 連結貸借対照表

#### ●固定資産・固定負債

連結範囲の変更により、固定資産は764億91百万円(前期比2.6%増)、固定負債は85億26百万円(前期比13.4%増)となりました。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 自平成22年10月1日 至平成23年9月30日	前連結会計年度 自平成21年10月1日 至平成22年9月30日
売上高	702,411	665,640
売上原価	652,083	617,484
売上総利益	50,328	48,155
販売費及び一般管理費	39,663	38,839
営業利益	10,664	9,316
営業外収益	1,209	1,076
営業外費用	317	409
経常利益	11,555	9,983
特別利益	157	175
特別損失	753	1,217
税金等調整前当期純利益	10,959	8,941
法人税、住民税及び事業税	4,624	4,045
法人税等調整額	△ 66	△ 179
少数株主損益調整前当期純利益	6,400	—
少数株主利益	99	40
当期純利益	6,301	5,035

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

### POINT 2 連結損益計算書

#### ●当期純利益

東日本大震災による損失等の特別損失を7億53百万円計上しましたが、前期に比べ25.1%増加し、63億1百万円となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 自平成22年10月1日 至平成23年9月30日	前連結会計年度 自平成21年10月1日 至平成22年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,824	13,417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,928	△ 3,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,882	△ 1,416
現金及び現金同等物の増減額	7,013	8,880
現金及び現金同等物の期首残高	38,686	29,806
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	229	—
現金及び現金同等物の期末残高	45,929	38,686

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

## 連結株主資本等変動計算書

(自平成22年10月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計		
平成22年9月30日残高	5,934	8,806	52,482	△ 860	66,362	1,341	△ 2	1,338	416	68,116
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 1,385		△ 1,385					△ 1,385
当期純利益			6,301		6,301					6,301
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						942	2	945	461	1,406
連結会計年度中の変動額合計	—	—	4,915	△ 0	4,914	942	2	945	461	6,320
平成23年9月30日残高	5,934	8,806	57,397	△ 860	71,276	2,283	△ 0	2,283	877	74,437

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当事業年度 平成23年9月30日現在	前事業年度 平成22年9月30日現在
流動資産	122,350	113,466
固定資産	70,889	69,435
有形固定資産	38,040	38,749
無形固定資産	3,620	3,514
投資その他の資産	29,228	27,172
資産合計	193,240	182,901
流動負債	116,753	111,684
固定負債	6,758	6,429
負債合計	123,511	118,114
純資産合計	69,728	64,787
負債純資産合計	193,240	182,901

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当事業年度 自平成22年10月1日 至平成23年9月30日	前事業年度 自平成21年10月1日 至平成22年9月30日
売上高	553,868	522,515
売上原価	516,086	486,610
売上総利益	37,782	35,904
販売費及び一般管理費	28,412	27,762
営業利益	9,370	8,141
経常利益	10,130	8,857
当期純利益	5,508	4,604

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

POINT 1

貸借対照表

●流動資産・流動負債  
売上の増大に伴い、売上債権及び仕入債務が増加したことにより、流動資産は1,223億50百万円(前期比7.8%増)、流動負債は1,167億53百万円(前期比4.5%増)となりました。

POINT 2

損益計算書

●売上高  
消費者ニーズに対応した商品の開発・品揃え提案等を推進し、主要得意先との取組み強化、自社PB商品の拡売により、5,538億68百万円(前期比6.0%増)となりました。

POINT 3

損益計算書

●経常利益  
利益管理の徹底及び物流コストをはじめ諸経費の抑制により、101億30百万円(前期比14.4%増)となりました。

会社概要(平成23年9月30日現在)

名称 加藤産業株式会社  
 設立 1947年(昭和22年)8月22日  
 本社 兵庫県西宮市松原町9番20号  
 事業内容 総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元  
 資本金 59億3,405万円  
 従業員数 1,010名

役員(平成23年12月16日現在)

取締役会長	加藤 武雄	取締役	坪内 良
代表取締役社長	加藤 和弥	取締役	鷹尾 和彦
専務取締役	治居 義継	取締役	木村 敏弘
常務取締役	安本 一男	取締役	上島 浩一
常務取締役	多原 善雄	常勤監査役	井上 淳一
常務取締役	弥谷 恵太郎	常勤監査役	中村 順
常務取締役	小林 隆夫	監査役	辻 卓史
取締役	福島 和成	監査役	加藤 正一
取締役	破魔 重美		

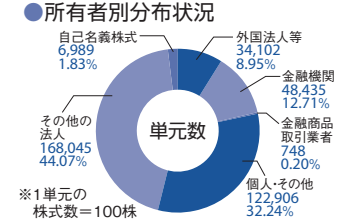
グループ会社(平成23年9月30日現在)

会社名	所在地	事業内容	資本金	議決権比率	決算期	売上高
◎ ケイ低温フーズ(株)	兵庫県伊丹市	低温食品卸売業	1,200	61.25%	H23.9	80,626
◎ ヤタニ酒販(株)	大阪市北区	酒類・食品卸売業	100	100.00%	H23.9	59,390
◎ 九州加藤(株)	宮崎県都城市	食品卸売業	100	100.00%	H23.9	6,151
◎ マンナ運輸(株)	京都府久世郡久御山町	運送業	98	56.53%	H23.9	3,878
◎ 和歌山産業(株)	山形県東根市	食品製造業	84	100.00%	H23.9	4,267
◎ 沖縄ロジスティクス(株)	沖縄県糸満市	物流業務請負業	50	100.00%	H23.9	102
◎ カトー菓子(株)	愛媛県松山市	菓子卸売業	50	95.00%	H23.9	5,429
◎ 加藤不動産(株)	兵庫県西宮市	損害保険代理店業	45	100.00%	H23.9	224
◎ カトーロジスティクス(株)	兵庫県西宮市	運送業	40	70.00%	H23.9	3,706
○ カトー酒販(株)	東京都江東区	酒類・食品卸売業	10	100.00%	H23.9	2,531
○ カトー農産(株)	宮崎県小林市	農産物卸売業	65	92.31%	H23.9	812
○ (株)アドバンス・キッチン	兵庫県西宮市	飲食業	10	80.00%	H23.9	125
△ 三陽物産(株)	大阪市北区	酒類・食品卸売業	670	40.00%	H22.12	118,192
△ エス・エイ・エスジャパン(株)	東京都葛飾区	酒類・食品卸売業	20	25.00%	H22.12	8,020

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

株式の状況(平成23年9月30日現在)

●発行可能株式総数  
72,000,000株  
 ●発行済株式の総数  
38,153,115株  
 ●株主数  
7,477名  
 (内、単元株所有者数:7,172名)



●大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	議決権比率
住友商事株式会社	3,270	8.73%
三井物産株式会社	3,153	8.42%
三菱商事株式会社	1,787	4.77%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,204	3.21%
加藤武雄	1,143	3.05%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,051	2.80%
加藤和弥	885	2.36%
加藤産業グループ会社従業員持株会	866	2.31%
キュービー株式会社	841	2.24%
ハウス食品株式会社	838	2.24%

(単位:百万円)